

(別紙4(2))

事業所名 グループホームまきびの丘

目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6	認知症のBPSDである不穏から来る暴言や徘徊等に対し、職員間でどう対処すべきか統一見解を持ち、ケアできているか。	行動を落ち着かせるための向精神薬の過剰な投与は、身体拘束にあたることを理解し、精神薬の取り扱いには慎重を期す。	精神薬の副作用のリスクを十分考慮したうえで、担当医との連携を密にし、精神薬になるべく頼らないケアの実践に努める。 6ヶ月
2	48・53	開所から10年近く経ち、入居者の認知機能や身体機能のレベルの差も顕著になってきた。そういったレベルの違う入居者同士が、お互い快適に過ごせるような環境づくり、雰囲気づくりができていないか。	入居者がお互い快適に過ごす事ができ、生きがいを感じてもらえるような役割やレクリエーションを提供する。	時間がかかっても出来ることは自分でやってもらい、職員は援助者の立場に徹する。又、レクリエーションの際には、孤立する利用者がでないように十分配慮するが、入居者の意向や精神状態等にも配慮し、個別に対応していく。 6ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。